

教育基本法
学校教育法
学習指導要領
かわさき教育プラン

重点目標
「おはよう」礼儀
「ありがとう」感謝
「だいじょうぶ」思いやり

みんなで のびる
なかよく がっこうは
みんなで わが大切

『学校教育目標』

○たくましい子 ○のびる子 ○力を合わせる子 ○あかるい子
自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とよりよく生きようとする心豊かな児童の育成

<南野川小学校が育成を目指す資質・能力>

- 様々な学習や生活の場面で活用できる基礎的・基本的な知識や概念及び技能
- 未知の状況でも既得の知識や技能を活用してよく考え、課題を解決し表現する力
- 多様性を認め、他者と協働する態度や学びの意義を実感して生活に生かす態度

目指す学校像「多様性を大切にする南野川小」

- ・温かな心と豊かなかかわりが広がる安心感・安定感のある学校
- ・みんなが明るく力いっぱい学び合う充実感・達成感のある学校
- ・地域に開かれ、地域と歩み、地域の中で信頼感・存在感のある学校

児童・家庭・地域等の実態及び保護者・教師の願い

○明るく素直な児童が多いが、丁寧なあいさつをはじめ、言葉遣い、相手の気持ちを推し量りながらコミュニケーションをとる力を育てほしい。

○地域やPTA活動においては、地域の特徴を生かした個々の活動が充実しているのでさらに高めていけるように効果的な連携を図っていく。

児童の学ぶ意欲を高め、個別最適な学びと協働的な学びによる質の高い授業づくり

「生きる力」を育む授業の質の向上

- ・組織的な指導体制の確立
- ・児童の実態に応じた教材開発の重視
- ・少人数等でのきめ細やかな指導の充実
- ・校内研究研修の充実（国語科）
- ・外部人材の活用
- ・基礎基本の定着及び児童の興味関心を喚起する環境整備
- ・国際教室の充実

GIGA 端末
の利活用の
更なる推進
(ステップ 3へ)

心が通い合う温もりと落ち着きのある環境づくり

安全・安心で気持ちよく過ごせる校内環境下で、落ち着いた生活の確保

- ・人権尊重教育の推進
- ・教育相談、児童理解、児童指導の充実
- ・けが、不登校、いじめ0に向けた組織的な対応
- ・あいさつと正しい言葉遣いの励行
- ・特別支援教育の充実
- ・SOSの出し方、受け止め方教育の推進
- ・ジェンダー教育の充実

ソナー
で探知

家庭・地域に理解され協力関係を深める中での信頼関係づくり

安全・安心な信頼される学校づくり

- ・危機管理対策の徹底
- ・安全、安心な環境づくり

外部評価の実施と活用

- ・学校評価の充実と結果の活用
- ・異校種間連携の充実

地域との連携（学校運営協議会の活性化）

- ・教育活動の積極的な情報発信（ホームページの活用）

市制100
周年を意識
して

児童の生命・安全、心と体の健康を第一に進める体制づくり

望ましい人間関係、集団づくり

- ・学級活動、児童会活動及びクラブ活動の充実
- ・児童主体の環境づくりの推進
- ・学校行事を通じた体験活動の充実
- ・健康安全教育の推進（交通安全への意識を高める）
- ・近隣校との連携強化
- ・「ほう・れん・そう」の徹底

中学校区での
交流の活性化

校内研究テーマ「知りたい 読みたい 伝えたい」－内容を正確に理解し適切に表現する力の育成を目指して－

「国語科」

- キャリア在り方生き方教育 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる。
- 人権尊重教育 かかわりの中で人とつながるよさを感じ、自分を大切にし、相手も大切にできる子
- 道徳教育 自らの課題をもって生活を切り開き、友だちと力を合わせてよりよい生活を向上させようとする心豊かな児童の育成を図る。
- 特別活動 望ましい集団生活を通じて、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主性を育てるとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
- 総合的な学習の時間 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習の時間を通して、課題を解決し自己の生き方を考えることができるようにする。